



一部整備された明神川



花園消防署



問診風景



整備が待たれる中央通り

### 「心地よい生活が実感できるまち」とは



いなやまよしふみ 稲山良文 議員

答弁→ 明神川改修は将来性を考え、工法を変更しました

問 明神川河川改修事業について、突然工法を変更したのはなぜですか。

答 一部整備が終了していますが、残る区間は法面の勾配を緩やかにし親水性を持たせ、地域の憩いの場となるような水辺空間に配慮しました。男衾地区の将来性を踏まえ、良好な宅地として誘導が見込まれることから、工法を変更したものです。

問 費用対効果をどのように考えますか。

答 費用全体は増額となる予定ですが、地域の方々の安らぎや憩いの場として、自然環境の保全等さまざまな効果が生まれることのほうが大きいと考えています。

問 河川改修の完了時期について伺います。

答 用地の測量及び用地買収を計画し、用地買収完了後、工事に着手します。早期完成を目指したいと考えています。

### 議会の提言に対する考えは

問 デマンドタクシーについて、議会では平成23年度に検討委員会を設立し、24年度を目途に運行実施の要望を提言しましたが、これについて伺います。

答 運行経費を補助している東秩父村営バス、県北都市間路線バス、鉄道、さらにタクシー事業者も複数あり、これらを効率的、効果的に組み合わせ、利便性の高い交通体系を組み立てたいと考えています。議会からも具体的な調査報告を受けていますので、23年度中に町として一定の方向性を示していきたいと考えます。

### 防災無線の遠隔装置、移転理由は



いしいこうじ 石井康二 議員

答弁→ 花園署の出動人員増で、消防力強化となるためです

問 自然災害は、いつどのように発生するか予測不可能であり、万一に備えた体制と対応が重要です。県北部の大規模地震を想定した町の災害対応能力の向上や防災機関との連携強化が必要と考えます。

そこで、花園消防署に設置してある防災無線の遠隔制御装置を深谷の本部に移設する理由について伺います。

答 これまで花園消防署では、火災時に防災行政無線を放送するために職員を署に残さなければならず、火災と救急が重なった場合など出動人員に制限が出ることもあったため、深谷市消防本部より防災無線の遠隔制御装置を移設してほしいとの要望がありました。花園署の出動人員が増えることは、町の消防力の強化になることから、移設を行いたい考えです。

### 荒川南側に分署を

問 当町で災害時に即対応能力がある常備消防署は、老朽化した分署(1カ所)のみです。この現状について町長はどのように考えますか。

答 消防の広域化とあわせて検討したいと思えます。

問 本町人口の半分以上の方が暮らしている荒川南側の日常の安心感のためにも、分署を川南にお願いしたいが、いかがですか。

答 消防の広域化とあわせて検討したいと思えます。

## 防災対策

## 心地よいまちづくり

### 国保税、支払いが厳しいのでは



たもがみせつこ 田母神節子 議員

答弁→ 適正と考えています

問 長引く不況で生活は厳しさを増し、税金や公共料金の負担が追い打ちをかけています。国保加入者の約8割が年間所得200万円以下で、保険料が20万円以上です。支払い能力を超えているのではないかとと思いますが、いかがですか。

答 当町の税率や調定額は他の市町村と比べて決して高くはありません。適正と考えています。

問 無保険者が急増している中、すべての人に保険証を渡す考えはありますか。また、高すぎる窓口負担、減免措置が機能しているか伺います。

答 無保険者がいるとすれば、国保への加入手続きをしていないことが考えられます。また、特別な理由で窓口での支払いが困難と認められ、申請により一部負担を減額した人は1名ありました。

### どうとらえる? 国保の広域化

問 人権無視の国保行政の横行は、当町ではどうですか。また、都道府県の財政支援はどうなっていますか。

答 悪質な方、30件1800万円を差し押さえました。また、県の財政支援額は当町でも減少しています。

問 国保の広域化問題をどのようにとらえていますか。

答 国保財政の安定化・保険料の平準化になり、窓口は市町村、運営は都道府県になる予定です。決定は広域連合になります。

問 安心して医療が受けられるよう、1世帯1万円引き下げる考えはありますか。

答 非常に厳しい財政状況であり、引き下げられる状況ではありません。

## 寄居駅南整備

## 国民健康保険

### 寄居駅南整備、住民の意見は



ほんまとしこ 本間登志子 議員

答弁→ 下水道の整備等を求める意見が多くありました

問 平成20年12月に町の要請を受けて推進委員会が発足され、取り組んできました。2年後新町長が誕生し、推進委員会にお迎えし、今後の本事業への意向を伺いました。町として駅南を推進する姿勢に変わりはないとの答弁があり、今後の駅南地区の件は新町長に託し、推進委員会は終結となりました。

本事業は丸橋元町長、津久井前町長、現島田町長へと受け継がれ、駅南整備事業として、有効かつ効果的な実現性の高い手法を検討する運びとなりました。その内容について地権者のもとへ職員が説明に回っていますが、どのような意見が多かったのか伺います。

答 現在112名の方に説明し、下水道の早急な整備、現道の一方通行の解除、計画幅員20メートルにこだわらない道路整備、早急な市街地活性化につながる整備、現道側溝整備を求めるといった整備に関する内容が多くありました。

### 町民期待の駅南整備、進め方は

問 多くの町民が期待している駅南整備事業の進め方、期間等について町長の考えを伺います。

答 現在関係者へ説明を行っている途中であり、意見等も参考にし、検証結果がまとまりましたら説明会で報告をする予定です。町として寄居駅南の市街地整備を推進するという姿勢に変わりはありません。